

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(水素濃度低減対策)

No.	指摘日	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
1	設置変更許可審査からの 申送り事項 No.78 【E-17】	設置基準 条文 53条	水素爆発による原子炉 建屋等の損傷を防止す るための設備	-	大物搬入口ハッチが地震により閉動作しないことの説 明について、詳細設計段階で説明する。	大物搬入口ハッチが基準地震動Ssにより閉動作しな いことを確認した結果を説明します。	O2-補-E-08-0370-4_改0 補足-370-4 原子 炉格納施設の水素濃 度低減性能に関する説 明書に係る補足説明資 料	今回回答	
2	2020/10/28	共通(基本 設計方針)	基本設計方針に関する 説明資料【第67条 水 素爆発による原子炉格 納容器の損傷を防止す るための設備】	p.4	フィルタ装置出口水素濃度について、設置場所の考 え方を先行プラントと比較して説明すること。	水素濃度計の設置場所の差異は次のとおりです。 ・女川: 出口配管に設置 ・東二: 入口配管に設置 ・柏崎: フィルタ装置入口側配管及びフィルタ装置出口 側配管(よう素フィルタ入口側)に設置  女川は、ベント停止後、入口配管については、可搬型 窒素ガス供給装置によりフィルタ装置の上流側から窒 素を供給し、フィルタ装置を経由し放出口に至る流れ を作り、水素を掃気します。 また、出口配管は放出口まで連続上り勾配となり、水 素は蒸気とともに放出口に導かれることから、系統内 に水素が蓄積することはありませんが、窒素供給によ る系統パージ中において、系統内の水素濃度が低下 していることを確認するために、系統内の窒素の流れ を考慮し、水素濃度計で出口配管の系統パージ中の 水素濃度を監視することとしております。  一方、東二及び柏崎は、系統内の蒸気が凝縮してフィ ルタ装置に戻ると非凝縮性ガス濃度が上昇し、可燃 限界に至るおそれがある箇所に、系統パージ停止後 に水素が長期的に滞留しないことを確認するために 水素濃度計を設置しています。	-	今回回答	